

パソコンいわくら教室新聞

6月になりそろそろ梅雨入りに季節。雨脚が強くなると出かけるのもおつくに。そんな時のお供には音楽が一番。梅雨の晴れ間のお出かけにも是非。

●音楽を用意する

音楽を用意する、今までであればCDショップやレンタルショップでCDを購入して、プレーヤーで聞いたり、CDウォークマン等で聞いたりしていました。それはもはや昔の話。今やインターネット経由で、曲をパソコンに「ダウンロード」し、携帯電話や携帯プレーヤーに取り込んで持ち歩く、そんな時代になりました。携帯プレーヤーにはCDが数10〜数100枚分の曲を持ち歩くことができますので、手軽に音楽を楽しめます。

①まずはパソコンに取り込むことから。

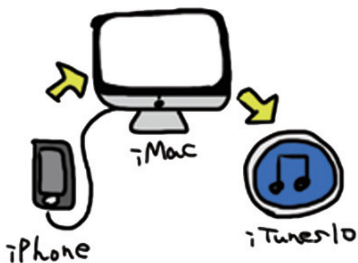
音楽をパソコンに取り込むには、CDから読み込む、音楽配信サービスから購入してダウンロードする、の2点があげられます。ダウンロードした音楽ファイルは著作権保護のため、「コピー回数に制限があります。また、パソコンが起動しなくなったことに備えて、CD化しておきましょう。

8からの取り込みは専用のソフトが必要で、Windows 付属なら「メディアプレーヤー」、Mac 付属なら「iTunes」が使えます。

音楽配信サービスの代表格では、アップルが運営している「iTunes Store」、iTunes 経由でサービスが受けられます。もう1つはソニーが母体の「Mora」です。これは専用ソフト「Xアプリ」が必要です。

②持ち歩くには？

最終的には、各スマートフォン、携帯電話、携帯プレーヤーにパソコンの音楽を転送して、使用しますが、各機種によって対応ソフトが異なります。



iPhone や iPod nano Mac にも Windows でも「iTunes」が便利。その他のスマートフォンや携帯電話ではどのソフトでも可能なようです。ウォークマンなら同メーカーから出ている「Xアプリ」が便利です。

③パソコンがない場合？

パソコンがなくとも、携帯電話やスマートフォンであれば、直接音楽配信サービスから購入することができます。

●音質について...

プレーヤーソフトで音楽を取り込む際、初期設定での品質はビットレート（1秒間にやり取りできるデータの量）で「128kbps」となっています。1秒間に何ビットの音楽情報を使うか、という単位です。当然数値が大きいほど「良い音質」ということになります。標準より良い音で取り込む場合は、それより大きいレートで取り込んであげればOK。

ただし、ビットレートとデータの容量は比例します。ので、良い音質にすればするほど、その音楽ファイルの容量は大きくなります。

一般に、容量が8Gバイトのプレーヤーで2000曲入ります、というのはビットレートが128kbpsで約4分の曲が2000曲という意味です。（1曲は約4Mバイトになります。）

携帯プレーヤーで付属のイヤフォンで聞く分には、ビットレートは128kbpsでも十分なように思われます。

これからが梅雨本番。音楽を持ち歩いて、憂鬱な気分をいい音楽で爽快な気分に変えましょう。梅雨でなくとも、街歩きに、電車の車内で、待ち合わせに。音楽があれば、気分も晴れ晴れです。今はやりの英会話教材を入れてもいいですね。おもわず笑ってしまう落語や漫才などのお笑いは、くれぐれもご注意を。



See you next Month